

全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」第 163 号をお届けします。
新着情報も多数ございますので、公文協ご担当者様におかれましては、
ぜひご所属団体、施設内で情報共有をいただけますと幸いです。

※本メールマガジンのメールアドレスは配信専用です。

このメッセージに返信しないようお願い致します。

----- 目 次 -----

【1】 全国公文協からのお知らせ：

全国アートマネジメント研修会 オンライン講座 3/31 まで配信中／
「共生社会実現のための人材養成講座」研修動画 3/31 まで公開中／
令和 7 年度 定時総会・研究大会／令和 7 年度 年会費のお知らせ／
委託事業 報告書のご案内／経営環境部会 調査にご協力ください／
公演企画 Navi／制度保険

【2】 新会員紹介

【3】 ピックアップ

文化庁 文化審議会 第 1 期文化施設部会の動向／
文化庁 「第 9 回 障害者文化芸術活動推進有識者会議」

【4】 会員等からのお知らせ

日本障害者舞台芸術協働機構(JDPA)「鑑賞支援サービス
地域スモールモデル構築事業」報告書

【5】 連載：支援員派遣制度の取組より ～改修・更新の取組事例～

第 1 回 改修に向けた準備をスムーズに進めるために

【6】 助成等に関する情報

【1】 全国公文協からのお知らせ

=====

★全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会〈再掲載〉
～オンライン講座 3/31 まで配信中！～

=====

現在、今年度のオンライン配信プログラムの
全プログラムの配信が行われています。

施設運営に役立つ「文化政策」や「改修」の基本を学ぶ講座のほか、
今年度実施した関連調査の報告をふまえた「貸館」に関する講座、
事業のヒントになる「市民ミュージカル」「アウトリーチ」や
社会課題の解決に向けた取組まで、多様なテーマを取り上げております。

配信期間は、いずれも3月31日（月）までとなっております。
お見逃しなく、ご視聴ください。

▼ 全国アートマネジメント研修会 ウェブサイト ▼

https://www.zenkoubun.jp/arts_management/

▼ 講座ラインナップはこちらをご参照ください ▼

https://www.zenkoubun.jp/arts_management/program/files/r06_online_training.pdf

=====

★「劇場・音楽堂等による共生社会実現のための人材養成講座」〈再掲載〉
～研修動画 3/31 まで配信中！～

=====

本年度の「劇場・音楽堂等による共生社会実現のための人材養成講座」
オンライン講座の講義動画を3月31日（月）まで公開しています。
障害者等による文化芸術活動の推進に向けた取組の一助として、
ぜひお役立てください。

▼ 動画の閲覧はこちらから ▼

https://www.zenkoubun.jp/barrier_free/planning/movie.html

=====

★〈予告〉令和7年度 定時総会・研究大会（愛知大会）

=====

来年度の定時総会、研究大会を以下の通り開催いたします。
研究大会の開催通知は4月上旬にメールに添付して
会員及び関係者へお送りします。

会期：令和7年6月12日（木）～13日（金）
場所：愛知芸術文化センター・愛知県芸術劇場
参加申込みの受付は4月に開始する予定です。
参加費の支払方法は「事前の銀行振込」となります。

▼ 詳細はこちらをご覧ください ▼

<https://www.zenkoubun.jp/about/meeting.html>

=====

★令和7年度 年会費のお知らせ〈再掲載〉

=====

4月1日付で令和7年度年会費の請求書をお送りいたします。
年会費は正会員、準会員とも昨年度と同額の28,000円です。

請求書の宛名等に変更がある場合は、
あらかじめ3月中までに変更届をメールかFAXでお送りください。

▼ 変更届 ▼

https://www.zenkoubun.jp/magazine/pdf/no78_henko.pdf

=====

★委託事業 報告書のご案内

=====

当協会ではこの春、
今年度委託事業として実施した下記事業についての報告書を、
公文協のウェブサイトに掲載いたします。
公開後、ウェブサイトにて順次お知らせを致します。

- ・劇場・音楽堂等基盤整備事業 報告書
- ・劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 実施報告書
- ・全国劇場・音楽堂等職員 アートマネジメント研修会 報告書
- ・全国劇場・音楽堂等職員 舞台技術研修会 報告書 ほか

=====

★「貸館事業」調査協力をお願い

=====

全国公文協の専門委員会・経営環境部会では、
6月開催の研究大会に向けて「貸館事業」をテーマに
調査・研究に取り組んでいます。

公立文化施設の多くが取り組む貸館事業の実情を把握したく、
次のとおり、Webアンケートを実施します。

- 【対象】公立文化施設の職員（部署を問わず）
※全国公文協加盟館以外の職員も対象とします。
【質問は30項目です。回答時間の目安は10分～15分です。】
※調査結果は統計データとして研究大会にて使用させていただきます。
※締切 令和7年3月24日(月)22時まで

▼ 回答フォームはこちらから ▼

<https://forms.gle/xzs2J6Phsw6kvSj89>

※セキュリティの問題でGoogleフォームでの回答が難しい方は
経営環境部会プロジェクトチーム（担当：ゴンダ）
gonda-XXX@itami-cs.or.jp（※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。）
までご連絡ください。

=====

★公演企画情報ポータルサイト

「公演企画 Navi」についてのお知らせ

=====

公演企画情報ポータルサイト「公演企画 Navi」ですが
2025年3月31日をもってサービスを終了させていただくこととなりました。
これまでご利用いただき誠にありがとうございました。

芸術団体等の公演企画情報を紹介し
公立文化施設の事業企画にお役立ていただくという取組みについては
今後も続けてまいりたいと考えており
現在新たな方法を検討しているところです。
そちらをスタートさせる際には改めてご案内をさせていただきます。

=====

★公立文化施設 制度保険

～資料発送と申込締切日のお知らせ～ 〈再掲載〉

=====

いざという時に役立つ全国公文協の制度保険ですが、
現在ご契約の保険は3月31日で満期となります。
2025年4月1日からのご継続・新規のお申込み手続きにつきまして、
2月初めに「2025年度 保険資料」を
会員の皆様へ郵送でお届けしております。

会員限定の業界随一の低廉な保険料でご案内しております。
制度保険をまだ利用されていない会員様も、ぜひご加入を検討ください。
また、会員でない施設様もこの機会に、
ご入会と保険加入を併せてご検討ください。

2025年度の各種保険の申込締切日は下記のとおりです。

- 3月19日（水）：賠償責任保険・マネー包括保険
- 3月19日（水）：役員賠償責任保険
- 3月19日（水）：利用者見舞費用保険
- 3月19日（水）：休業等補償保険
- 3月19日（水）：自主事業中止保険（5月開催公演）
- 4月18日（金）：自主事業中止保険（6月開催公演）

公文協制度保険では会員専用の制度保険ウェブサイトを運営しております。
施設固有のログインID・パスワードを保険資料に同封してお届けします。
保険の加入内容の確認、手引き・約款のダウンロードや、
申込票・請求書・加入者証の印刷、事故報告等が
ウェブサイトからできるようになっています。
保険料試算もできますので、どうぞご活用ください。

▼ 制度保険ウェブサイトはこちら ▼

URL : <https://zenkoubun-hoken.net/>

▼ お問合せはこちらまで ▼（※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。）

見積、保険の内容について：芸術の保険協会（メール：em-XXX-@bunka.org）

ID・パスワードについて：

全国公立文化施設協会（メール：bunka-XXX-@zenkoubun.jp）

【2】 新会員のご紹介

令和6年度・7年度入会の新会員をご紹介します。

◎正会員

東京都 大田区大森四丁目複合施設（スマイル大森）

<https://smile-omori.jp>

山梨県 北杜市高根ふれあい交流ホール（八ヶ岳やまびこホール）

<https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/life/maps/list/yamabiko/>

大阪府 堺市立東文化会館

<https://www.sakai-bunshin.com/facilities/east/about/>

兵庫県 宝塚市立文化芸術センター

<https://takarazuka-arts-center.jp>

福岡県 久山町文化交流センター（レスポアール久山）

<https://lespo-hisayama.jp>

◎準会員

愛知県 公益財団法人メニコン芸術文化記念財団

<https://meniconart.or.jp>

◎賛助会員

東京都 株式会社ヴォートル

<https://www.votre.co.jp>

【3】ピックアップ

=====

★文化庁 文化審議会 第1期文化施設部会

劇場・音楽堂等ワーキンググループ（第1回）ほかが開催されました

=====

3月5日に文化審議会 第1期文化施設部会

劇場・音楽堂等ワーキンググループ（第1回）が開催され、
ワーキンググループの運営や審議内容について、
また、劇場・音楽堂等の今後のあり方について議論されました。

3月13日には第1期文化施設部会（第2回）が開催され、
文化施設に関する検討が行われました。
配布資料は文化庁のウェブサイトで公開されています。

▼ 詳細・配布資料は文化庁のウェブサイトをご覧ください ▼

劇場・音楽堂等ワーキンググループ（第1回）：

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/bunka_shisetsu/gaki_jo_working/01/01/index.html

文化施設部会（第2回）：

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/bunka_shisetsu/01/02/index.html

=====

★文化庁 「第9回 障害者文化芸術活動推進有識者会議」にて

全国公文協の取組事例を紹介しました

=====

3月3日に開催された「第9回 障害者文化芸術活動推進有識者会議」で、
全国公文協は、障害者等の鑑賞に配慮した取組や
利用しやすい環境づくりに係る
人材育成等の取組についての事例を紹介しました。

▼ 詳細は文化庁のウェブサイトをご覧ください ▼

https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/94171901.html

【4】 会員等からのお知らせ

=====

★日本障害者舞台芸術協働機構(JDPA)

「鑑賞支援サービス 地域スモールモデル構築事業」報告書

=====

JDPAは文化庁委託事業「令和6年度障害者等による文化芸術活動推進事業」の一環として、地方劇場と一緒に鑑賞支援サービスに取り組み、実践を通じて地域人材を育成し、地方の劇場にも障害のある人が参加できる環境づくりをめざす「鑑賞支援サービス 地域スモールモデル構築事業」を行っています。

2024年度は継続的に支援体制を強化してきたいわき芸術文化交流館アリオス（福島県いわき市）および 荘銀タクト鶴岡 | 鶴岡市文化会館（山形県鶴岡市）に加え、新たに連携を開始した3劇場を対象に取り組みを実施し、報告書にまとめました。

報告書が、1つでも多くの劇場にとって実践の一步を踏み出す一助になることを願います。

▼ 報告書は JDPA のウェブサイトからご覧いただけます ▼

<https://jdp-arts.org/news/20250304/>

【5】新連載：支援員派遣制度の取組より

～第1回「改修に向けた準備をスムーズに進めるために」～

全国公文協では、自主事業の企画・実施や管理運営等に関する指導・助言を行う専門家（支援員）を地域や施設に派遣する支援事業を行っています。

今月からは改修についての支援事例を3回に分けてお届けします。

第1回は、実際の改修に向けた準備をスムーズに進めるための第一歩として、本事業を活用いただいた小金井市民交流センターの事例を紹介します。

■□■ 第1回「改修に向けた準備をスムーズに進めるために」 ～小金井市民交流センターの事例～ ■□■

〈支援依頼の背景〉

開設14年目を迎え、近年は経年劣化による不具合が多く発生していたが、個別修繕計画を有していないため、これまでは単年度で予算請求を行い、修繕を行っていた。そこで設置者である小金井市が、施設の修繕・改修計画（個別施設計画等）の企画立案に向け、指導助言を依頼した（支援員：近江哲朗氏）。

〈支援内容〉

第1回の支援では他市事例や修繕計画策定に関する基本的な考えを紹介したほか、現地確認もして具体的な助言を行った。第2回では現地確認を踏まえ、建築設備・舞台設備等の修繕方法や考え方を具体的に紹介した。

〈支援による成果〉

市の担当職員（施設担当、公共施設マネジメント担当、建築担当）と指定管理者で話を聞いたため、関係者全員で知識の向上を図れ、共通認識をもつことができた。また、現地視察により、施設独自の設備等についてもどのように修繕していけばよいか細かく助言を受けられ、修繕について具体的な想定が可能になった。専門的知見を得られたことは計画策定への大きな一歩となり、今後は当館で修繕状況の洗い出しや、修繕計画の策定に向けた準備を進める予定である。

◎取組のポイント

- ・設置者側と施設職員が同席して支援を受けたことで、施設の状況や、改修をする場合の予算確保の必要性、タイムスケジュール等についての共有がなされた。
- ・現地確認により、改修に進めていくための具体的な課題の洗い出しができた。
- ・市の企画財政部や建築営繕課からの参加もあり、スムーズな予算確保につながる事が期待される。

▼ 支援実施報告書は全国公文協ウェブサイトでご覧頂けます ▼

<https://www.zenkoubun.jp/support/advice.html>

【6】 助成等に関する情報

現在募集中の助成・活動支援等に関する情報を紹介します。

そのほか締切まで期間のあるものは公文協ウェブサイトにも掲載しております。

あわせてご覧ください。

<https://www.zenkoubun.jp/support/grant/index.html>

★☆☆ 助成情報【新規掲載】 ★☆☆

=====

★野村財団 音楽部門 助成

(4月1日募集開始、4月30日締切)

=====

若手芸術家の育成および

芸術文化の国際交流を目的とする活動を助成します。

▼ 詳細は野村財団のウェブサイトをご覧ください ▼

https://www.nomurafoundation.or.jp/culture/cu_koubo/music_gr01.html

★☆☆ 助成情報【再掲載】 ★☆☆

=====

★ポーラ伝統文化振興財団 助成事業

(3月31日締切)

=====

伝統芸能、民俗芸能など、日本の無形の伝統文化財の
保存・記録事業や後継者育成・普及事業、調査・研究、
復元・伝承事業等の、有効な成果が期待できる事業に
補助的な援助が行われます。

▼ 詳細はポーラ伝統文化振興財団のウェブサイトをご覧ください ▼

<http://www.polaculture.or.jp/promotion/jyoseiapply.html>

=====

★大和日英基金 奨励助成

(3月31日締切)

=====

日英間の相互交流の促進・支援につながるプロジェクトを実施する
個人、団体、グループによる教育的交流、草の根交流、学術研究調査、
また会議や展覧会等の多様な事業に助成が行われます。

▼ 詳細は大和日英基金のウェブサイトをご覧ください ▼

<https://dajf.org.uk/ja/grants-awards-and-prizes/daiwa-foundation-small-grants>

=====

★企業メセナ協議会 社会創造アーツファンド

(4月20日締切)

=====

社会創造アーツファンドに申請が行われた
地域文化振興および芸術・文化による地域創造、
芸術・文化を通じた国際交流および日本文化の国際発信、
芸術・文化およびこれを通じた社会創造を担う人材育成等の活動について、
それを実現するための寄付募集が行われます。

原則として公益財団法人・公益社団法人は対象となりませんが、
ファンド利用の事由等を検討の上、取り扱われる場合もあります。
申請受付は3ヶ月ごとに実施されています。

▼ 詳細は企業メセナ協議会のウェブサイトをご覧ください ▼

<https://culfun.mecenas.or.jp/collect/artsfund/point.html>

★☆☆ 助成情報【 地域限定 】 ★☆☆

※都道府県単位の情報掲載を原則としておりますが、
個別にご依頼をいただいた場合は、都度、検討いたします。

=====
★アーツカウンシル東京 伝統芸能体験活動助成
(5月8日18時締切)
=====

伝統芸能のさまざまな種目について、初めての人でも入りやすく、
一人の参加者が同一の種目の実技を複数回にわたって
自ら体験することができる事業に助成されます。

対象となる申請者は東京都内に本部事務所や本店所在地が存在する団体で、
公共劇場、公共ホール等を運営する財団法人や民間企業等は、
事業の主催者・共催者である場合は申請できます。

▼ 詳細はアーツカウンシル東京のウェブサイトをご覧ください ▼

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/support/grants/traditional-arts-practice-grant-program/>

=====
★しまね文化ファンド 助成事業（後期）
(4月21日受付開始～5月23日締切)
=====

島根県内の民間団体（営利法人は除く）の行う、
島根県民が事業の中心となる
地域文化振興、芸術文化振興、国際文化交流の活動に助成されます。

▼ 詳細はしまね文化ファンドのウェブサイトをご覧ください ▼

https://www.pref.shimane.lg.jp/life/bunka/shinkou/jyosei_jigyo/bunkafund/

★★★ 編集後記 ★★★

全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」2024年度12号
(通巻第163号)を最後までお読みいただき、ありがとうございました。

今後、全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」で
取り上げてほしい内容や、「会員等からのお知らせ」で告知したいこと、
他館に質問したいこと、共有したい情報などがありましたら、
ぜひ情報をお寄せください。
この場が皆様の情報交換の場として活用されることを期待しています。

また、本メールマガジンは、どなたでもご購読いただけます。
(申込先：<https://www.zenkoubun.jp/magazine/index.html>)
劇場・音楽堂等の運営に携わっている方やご興味をおもちの方に、
ぜひ、本メールマガジンをご案内ください。

▼ ご意見・ご感想、各種ご連絡・お問い合わせはこちらまで ▼

E-mail：bunka-XXX-@zenkoubun.jp (※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。)

▼ メールマガ配信のお申込みはこちらから ▼

<https://www.zenkoubun.jp/magazine/index.html>

▼ メールマガ配信停止の手続きはこちらから ▼

<https://www.zenkoubun.jp/form/cancel.html>

◇◇ 公益社団法人 全国公立文化施設協会 ◇◇

〒104-0061

東京都中央区銀座 2-10-18 東京都中小企業会館 4階

TEL：03-5565-3030

FAX：03-5565-3050

E-mail：bunka-XXX-@zenkoubun.jp (※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。)

URL：<https://www.zenkoubun.jp>
